

2017 MIDAS CONSTRUCTION SEMINAR

The 3rd, 4th



MIDAS 建設分野 技術講座 第3回、第4回参加申込書

参加講座

第3回 東京 技術講座

斜面・トンネル事故と対応

5月23日 火曜日

第4回 大阪 技術講座

盛土の締固め効果

6月6日 火曜日

申請者情報

会社名

部署名

氏名

E-mail

TEL/FAX

(TEL)

(FAX)

送付先

FAX

03-5817-0784

- ※ お申込みフォームにご記入頂いた個人情報は、当社の事業に関する情報の提供や参加者募集の案内等の範囲内で利用致します。
- ※ 個人情報は、(株)ミダスイティジャパンの個人情報保護方針に従い、取扱い目的以外に利用したり、第三者に提供することはありません。
- ※ ご記入頂いたメールアドレスへ「申込受付メール」をお送りいたしますので、アドレスは正確に、分かりやすくご記入下さい。
- ※ お申し込み下さった方には、「申請確認メール」をお送り致します。
万一、「申請確認メール」が確認できなかった場合は、大変申し訳ございませんが、お問い合わせ先までご連絡下さい。



株式会社ミダスイティジャパン

〒101-0021 東京都千代田区外神田5-3-1 秋葉原OSビル7F

TEL 03-5817-0789 | FAX 03-5817-0784 | e-mail g.support@midasit.com

<http://jp.midasuser.com/geotech>

MIDAS The 3rd Construction seminar

2017. 5. 23

講演
講師



一般財団法人地盤地盤環境研究所 代表理事
京都大学 名誉教授
土木学会 名誉会員、理事、関西支部長 歴任
公益社団法人地盤工学会 会長 歴任
国際地盤工学会 委員長 歴任

足立 紀尚 先生

斜面・トンネル事故と対応

斜面崩壊やトンネル覆工の剥落事故は交通障害となり、建設中の事故も社会に悪影響を及ぼす。

事故の原因の究明と速やか対応、また抜本的対応が重要であり、原因究明や対応・対応を実例にもとづき論じる。

講座
会場

住所 公益社団法人地盤工学会JGS会館 B1F
〒112-0011
東京都文京区千石4丁目38番2号

交通 都営地下鉄三田線 | 千石駅1番出口 3分
JR山手線 | 巣鴨駅 徒歩10分



講座
内容

SESSION 1	
13:00 ~ 13:05 (05分)	ご挨拶
13:05 ~ 13:45 (40分)	GTS NX3次元モデリング/解析事例紹介 (株)マイダスアイティジャパン 廣瀬 栄樹
13:45 ~ 14:00 (15分)	休憩
SESSION 2	
14:00 ~ 15:00 (60分)	斜面・トンネル 事故と対応 I 京都大学 名誉教授 足立 紀尚 先生
15:00 ~ 15:15 (15分)	休憩
SESSION 3	
15:15 ~ 16:15 (60分)	斜面・トンネル 事故と対応 II 京都大学 名誉教授 足立 紀尚 先生

MIDAS The 4th Construction seminar

2017. 6. 6

講演
講師



東京大学名誉教授
東京理科大学嘱託教授
世界ジオシンセティックス学会 会長 歴任
世界地盤工学会 副会長 歴任
公益社団法人地盤工学会 会長 歴任

龍岡 文夫 先生

盛土の締固めにおける飽和度管理の重要性と 締固め効果の設計での反映

盛土の締固めにおける飽和度管理の重要性について説明し、管理法の提案およびこの管理法に基づいた施工例を紹介する。

また、Newmark法およびFEM解析による検討例を通して、実例、解析において、排水条件と締固めの影響が非常に大きいことを説明する。

講座
会場

住所 新大阪丸ビル別館4階 4-3会議室
〒533-0033
大阪市東淀川区東中島1-18-22 丸ビル別館

交通 JR「新大阪駅」東口より徒歩2分
地下鉄御堂筋線「新大阪駅」5、6番改札出口より徒歩8分



講座
内容

SESSION 1	
13:00 ~ 13:05 (05分)	ご挨拶
13:05 ~ 13:45 (40分)	GTS NX3次元モデリング/解析事例紹介 (株)マイダスアイティジャパン 廣瀬 栄樹
13:45 ~ 14:00 (15分)	休憩
SESSION 2	
14:00 ~ 15:00 (60分)	盛土の締固めにおける飽和度管理の 重要性と締固め効果の設計での反映 I 東京大学 名誉教授 龍岡 文夫 先生
15:00 ~ 15:15 (15分)	休憩
SESSION 3	
15:15 ~ 16:15 (60分)	盛土の締固めにおける飽和度管理の 重要性と締固め効果の設計での反映 II 東京大学 名誉教授 龍岡 文夫 先生